

 **KIT** | 金沢工業大学

KIT OPEN CAMPUS
同日開催!

DXハイスクール 応援プログラム **plus**

2026. **7.18**(土)・**19**(日) **11:00～15:30**
(受付10:30～)

会場：金沢工業大学 扇が丘キャンパス 7号館

(石川県野々市市扇が丘7-1)

対象：高校教員・教育委員会関係者

参加費：無料

後援：文部科学省

事前申込

6月8日(月)13:00予定～7月15日(水)

https://www.kanazawa-it.ac.jp/jigyo/dx/event/2026/dxh_plus/



金沢工大 DXハイスクール

検索



高校の探究学習/課題研究・ 教育DXの事例紹介

- 石川県立金沢向陽高等学校 ●石川県立大聖寺高等学校
- 富山県立砺波工業高等学校 ●山形市立商業高等学校



大学教員による 高校教育の支援プログラム

- 探究学習/課題研究、情報科目等で活用できるデジタルツールの活用方法
- 専門教員との授業運営相談・意見交換

同日開催
参加可能!

KIT OPEN CAMPUS

7/18日(土)・19(日)10:00～16:00
<https://kitnet.jp/opencampus/>

●6学部17学科の学科紹介&体験

- ▼情報デザイン学部
経営情報学科/環境デザイン創成学科
- ▼メディア情報学部
メディア情報学科/心理情報デザイン学科
- ▼情報理工学部
情報工学科/知能情報システム学科/ロボティクス学科
- ▼バイオ・化学部
環境・応用化学科/生命・応用バイオ学科
- ▼工学部
機械工学科/先進機械システム工学科/航空宇宙工学科/
電気エネルギーシステム工学科/電子情報システム工学科/環境土木工学科
- ▼建築学部
建築学科/建築デザイン学科

- 入試・奨学生制度説明会
- 就職/進路紹介
- 資格取得紹介
- 留学紹介
- 女子高生トークラウンジ
- キャンパス案内
夢考房やChallengeLab (VR機器展示)、ライブラリーセンターなどKITの充実したキャンパスをスタッフが紹介します
- 夢考房プロジェクト紹介
- 課外活動(部活動・プロジェクト)紹介
eスポーツプロジェクト/防災・減災プロジェクトSoRa/
サイロジェクト/SDGs Global Innovators



- お車でご来場いただけます
- KIT OPEN CAMPUSの専用バスをご利用いただけます(無料)

お迎えバス | JR金沢駅(金沢港口) → KIT

9:15発 → 9:45着 10:00発 → 10:30着 11:00発 → 11:30着
9:30発 → 10:00着 10:30発 → 11:00着 11:30発 → 12:00着

お帰りバス | KIT → JR金沢駅(金沢港口)

15:50発 → 16:20着

※道路事情により到着が遅れる場合があります

[お問い合わせ]

金沢工業大学
DXハイスクール応援プログラム
/DXフェス運営事務局
(大学事務局 共創教育推進室内)
電話 076-294-6743
メール dx-fes@mlist.kanazawa-it.ac.jp



DXハイスクール応援プログラム ^{plus} 7.18 (土)・19 (日)

11:00～15:30 (受付10:30～) [会場] 金沢工業大学 扇が丘キャンパス 7号館

10:30	受付開始
11:00	ごあいさつ
11:20～12:30	高校の探究学習/課題研究・教育DXの事例紹介
12:30	ランチ体験 (無料)
13:30～15:30	大学教員による高校教育の支援プログラム



高校の探究学習/課題研究・教育DXの事例紹介 (11:20～12:30)

両日、二つの高等学校による事例をご紹介後、パネル形式の質疑応答を行います。
【ファシリテーター】学長補佐 鈴木亮一 教授 (ロボティクス学科)

18日 (土) P1

① 石川県立金沢向陽高等学校 [講師] 山川 岳 教諭、KIT学生
持続可能な学校DXの仕組みづくり
～校内定着と外部資金を組み合わせた実践～

② 富山県立砺波工業高等学校 [講師] 電子科 高柳雅也 教諭、角間栄作 校長
3年課題研究の充実に向けた2年次での探究学習の取り組み

19日 (日) P2

① 石川県立大聖寺高等学校 [講師] 西 一志 教諭、DX部 生徒・コーチ(KIT学生)
KIT学生スタッフと紡ぐ、大聖寺高校DX部の軌跡
～生徒の「やりたい」を形にする伴走型支援～

② 山形市立商業高等学校 [講師] 情報科 遠藤雅人 教諭、大沼吉男 主任実習教諭
高校を起点とした大学・企業・地域団体との連携によるデジタル人材育成
～DXハイスクール機器 (VRゴーグル等) を活用した実践報告～



大学教員による高校教育の支援プログラム (13:30～15:30)

※各プログラムに定員があります。詳細はウェブサイトをご確認ください。
※内容は変更する場合があります
※演習用のパソコン等は本学で準備します。

18日(土)	19日(日)	形式	内容
A1 13:30-14:20	—	講演	生成AIによって生徒自ら設定したペルソナを用いた探究学習のアップデート 生成AIの活用は探究活動に良い影響も悪影響も与えます。この講座では近年の教育研究に基づいて設計された生成AI活用方法として、生成AIによって作成したペルソナを生徒のアドバイザーにしながら探究活動を進めていく方法とその注意点について紹介します。 情報デザイン学部 平本督太郎 教授
B1 13:30-14:20 ①概念設計編	—	講演	ウルトラミニバイクの設計・製作におけるDX実践 [①概念設計編 ②実践編] 機械工学の設計・製作のDX化を学ぶ「30cm角のウルトラミニバイク」をテーマに、Fusionでの最適化設計やCAEによる強度計算を駆使し、3Dプリンタによる製作実例を紹介します。①概念設計編はDX技術の実践例解説、②実践編は実技演習を行います。 先進機械システム工学科 坂本重彦 教授 他
B2 14:40-15:30 ②実践編	—	演習	
C1 13:30-14:20 ①初級プログラミング	C3 13:30-15:00 ③データ解析	演習	農業DX・スマート農業の探究学習への導入 [①初級プログラミング ②中級プログラミング ③データ解析] ①micro:bit とブロックプログラミング (MakeCode) による初級プログラミング演習、②Smart Agriculture Kit による圃場データの測定のための中級プログラミング演習、③統計パッケージ R を用いた圃場データを用いたデータ解析 生命・応用バイオ学科 相良純一 准教授
C2 14:40-15:30 ②中級プログラミング	—	—	—
D1 13:30-14:20 D2 14:40-15:30 (D1・D2は同じ内容)	D3 13:30-14:20 D4 14:40-15:30 (D3・D4は同じ内容)	交流	メディア情報×探究なんでも相談 「探究学習にメディア情報技術はどう活用できるのか?」「購入した情報機器を探究学習に活かすには?」「生成AIを取り入れた探究学習を行いたい」など、貴校のご状況に応じたご相談をお受けします。 メディア情報学科 浦 正広 准教授 他
—	E1 13:30-14:20	講演	生成AI時代のデータサイエンス教育 生成AIにより、数語のプロンプトで教科書的なデータ分析だけでなく、適切なモデルを自動選定しての分析コードの生成、さらにデータや結果の可視化までも可能になっています。その今、データサイエンス教育のありかたを皆さんと一緒に考えます。 情報デザイン学部 武市祥司 教授
F1 13:30-15:00	F2 13:30-15:00	講演	探究学習のためのPBL基本構成と生成AIの活用 —大学の実践事例から学ぶ「授業設計」のヒント— 大学での実践を基にPBLの基本構成を整理し、探究学習の授業設計のヒントを提示します。また、学習の各工程の思考を補助する生成AIの活用例を紹介します。後半は、質疑や相談を通して現場の課題等について、今後の指導に繋がる解決策を共に考えます。 プロジェクトデザイン基礎教育課程 西田義人 准教授
—	G1 13:30-15:00	講演	探究学習における3Dプリンタ活用法 3Dプリンタ活用の鍵となる「モデリング」に焦点を当て、探究授業で使える造形データの作成方法をご紹介します。後半では参加者の皆さんとともに、授業での活用事例やモデリング指導における課題を共有し、実践につながるヒントを探ります。 プロジェクト教育センター 小間徹也 技師長、榎本龍政 主任技師
H1 13:30-15:30	H2 13:30-15:30	演習	プログラマブル小型ドローン「StampFly」を用いたドローン制御学習 (キーワード) ドローン操縦体験/開発環境のインストール/プログラム書き換え体験/モータの制御 ロボティクス学科 伊藤恒平 教授
I1 14:40-15:30	I2 14:40-15:30	講演	生成AIが高校教育に与える影響と活用法 現在、生成AIの能力は大変高く、東大に首席で合格できるようになっています。このような生成AIが高校教育に与える影響、また、どのように活用すべきかについてお話しします。 知能情報システム学科 山本知仁 教授
J1 14:40-15:30	J2 14:40-15:30	講演	自作ゲームコントローラで学ぶデジタルものづくり Minecraftを題材に、NASEF Japanとの連携によるeスポーツ教材開発の一例として、micro:bitや画像認識AIを使った自作ゲームコントローラ開発を紹介します。センサ、AI、プログラミングを活用する面白さと教育活用の可能性をお伝えします。 情報工学科 河並 崇 教授、プロジェクトデザイン基礎教育課程 稲葉勇人 助教
K1 14:40-15:30	K2 14:40-15:30	講演	「半導体って何?」何も知らない人向けの優しい半導体講座 「半導体」という言葉をニュースで見ると多いと思いますが、「半導体って何?」と素朴に疑問に思っている方は多いと思います。そんな方々に向けて、半導体の超基本を説明します。皆さんが「なるほど」と思ってもらえることを目指します。 電子情報システム工学科 山口敦史 教授